

漢文『画竜点睛』定期テスト対策問題 | 書き下し・現代語訳・句法の頻出設問と解答

組 番 氏名

/100点

本文

【白文（訓点）】 ※物語の核心部分を抜粋しています。

金陵安楽寺四白竜、①不_レ点_二眼睛_一。
②每_二云_一、「③点_レ睛即飛去。」
④人以為_二妄誕_一、⑤固請_レ点_レ之。
⑥須臾雷電破_レ壁、両竜乗_レ雲騰去上_レ天。
二竜⑦未_レ点_レ眼者見在。

【書き下し文】

金陵の安楽寺の四白竜は、①眼睛を点ぜず。②毎に云ふ、「③睛を点ぜば即ち飛び去らん。」と。④人以て妄誕と為し、⑤固く之を点ぜんことを請ふ。⑥須臾にして雷電壁を破り、両竜雲に乗り、騰去して天に上る。二竜の⑦未だ眼を点ぜざる者は、見在す。

設問

次の各問いに答えなさい。傍線部①～⑦は本文中の位置を示しています。

1. 「画竜点睛」の「睛」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 「睛」の意味を答えなさい。
 - (2) 書き写すときに混同しやすい、形がよく似た漢字一字を挙げなさい。
2. 傍線部①「不点眼睛」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 書き下し文に直しなさい。
 - (2) 「点ず」のここでの意味を答えなさい。
3. 張僧繇が竜のひとみを描き入れなかったのはなぜか。本文に即して答えなさい。
4. 傍線部②「毎」の読み（送り仮名を含む）と意味を答えなさい。
5. 傍線部③「点睛即飛去」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 書き下し文に直しなさい。
 - (2) 「即」の読みをひらがなで答えなさい。
6. 書き下し文「睛を点ぜば」の「ば」が表す意味として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。
 - ア 順接の仮定条件（もし～ならば）
 - イ 順接の確定条件（～ので）
 - ウ 逆接の確定条件（～のに）
7. 書き下し文「飛び去らん」の「ん（む）」の文法的な意味を答えなさい。
8. 傍線部③「点睛即飛去」を現代語訳しなさい。
9. 傍線部④「人以為妄誕」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 書き下し文に直しなさい。
 - (2) 「以て～と為す」の意味を答えなさい。
10. 「妄誕」の意味として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。
 - ア 縁起の悪い前ぶれ
 - イ 大げさな自慢話
 - ウ でたらめ・うそ
11. 傍線部⑤「固請点之」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 「固」の読み（送り仮名を含む）と意味を答えなさい。
 - (2) 「之」が指す内容を答えなさい。
 - (3) 書き下し文に直しなさい。
12. 人々が「固く請うた」のは、どのような気持ちからか。本文に即して説明しなさい。
13. 傍線部⑥「須臾」の読みと意味を答えなさい。
14. 「雷電破壁」を書き下し文に直しなさい。
15. 「両竜乗雲」の「両竜」とは、どの竜のことか答えなさい。
16. 傍線部⑦「未点眼者」について、次の小問に答えなさい。
 - (1) 「未」のように、一つの字を二度読む漢字を何と呼ぶか答えなさい。

- (2) 「未」の読み方の規則を説明しなさい。
- (3) 「未点眼者」を書き下しなさい。

17. (1)で答えた種類の漢字を「未」以外に二つ挙げ、それぞれの読み方を示しなさい。

18. 「見在」の読みと意味を答えなさい。また「見」がどの漢字に通じるかも示しなさい。

19. ひとみを描き入れられた竜と、描き入れられなかった竜は、それぞれ最後にどうなったか。本文に即して説明しなさい。

20. 故事成語「画竜点睛」の意味を答えなさい。

21. 「画竜点睛を欠く」について、次の小問に答えなさい。

- (1) 意味を答えなさい。
- (2) 使い方として最も適切な文を、次から一つ選びなさい。
ア 彼のスピーチは内容も話し方も完璧で、まさに画竜点睛を欠く出来だった。
イ 細部まで丁寧に作りこんだ模型なのに、最後の塗装を忘れていて画竜点睛を欠く。
ウ 毎朝寝坊して遅刻ばかりしている彼の生活は、画竜点睛を欠いている。

22. 出典について、次の小問に答えなさい。

- (1) この故事の出典である書物の名を答えなさい。
- (2) その書物を著した人物名を答えなさい。
- (3) その書物が書かれたのはどの王朝の時代か答えなさい。
- (4) 張僧繇はいつの時代の、どのような人物か簡潔に答えなさい。